

《 豊高の風景—11月》

気が付けば、11月も半ば。期末テスト目前です。3年生は、共通テストまで2か月。時間の過ぎる速さは、『枕草子』で清少納言が喩えたように、帆をかけた船のようですね。

校庭の木々もいつの間にか美しく色づいています。テニスコートの柿の木もたわわに実をつけ、あちこちの木々からは、びっくりするほどたくさんのドングリが落ちています。校内のどこを見ても秋の深まりを感じます。

11月は、芸術鑑賞会の他に行事もなく、豊高生にとっては部活動や学習や読書にじっくりと取り組むことのできる月ですね。そして、今年の秋は例年に比べて天候が良く、特に外で活動する部活動の生徒の皆さんにはうれしかったと思います。

一方で、「カメムシ」が盛んに教室に忍び込んで皆さんに悲鳴を上げさせたのも、今年の秋の特徴ですね。

以前、「カメムシの多い年は冬が寒く、雪が多いものだ」と聞いたことがあります。さて、この冬は例年よりも多く雪景色が見られるのでしょうか。

無理して答えをださなくていい—狗子仏性(くしぶっしょう)

「犬にも仏性があるか」と尋ねた僧がいました。師僧の答えは「無」でした。しかし仏教では「すべてのものに仏性がある」としています。だから、師僧の答えは、表面だけ見れば正反対。しかしこれは「無い」でもなければ「有る」でもありません。

実は、師僧の答えの本意は「有無」を超えたところにあるのです。「判断など手放してしまいなさい」という教えだと解釈することもできます。

世の中の問題や、人の悩みの中には、「いくら考えてもわからない、判断できない」問題が多く存在します。いくら考えても、「わからない・判断できない」のだとしたら、いつまでも考えることに執着せず、すっと悟れる機会に巡り合うまで放っておく。それもひとつの方法なのです。

悩みから解放されたくて、焦って無理して出した答えは、所詮、その程度のもの。時として、「わかるときが来るまで放っておく」という選択も大切なのです。

『心をととのえるスヌーピー』 光文社 より抜粋

【次回スクールカウンセラー来校日】12月12日(月) 次々回 1月16日(月)

悩みや不安があるとき、気持ちを言葉にして人に話すと、前向きになれることがあります。

相談内容の秘密は守られます。安心して利用してください。

希望者は、担任か養護教諭に申し出てください。

* 相談室の利用方法について *

スクールカウンセラーに相談する以外にも、校内の相談係の先生と相談室で話ができます。

希望する人は、養護教諭、担任、教科担任等、どの先生でもよいので申し出てください。

後日、日時を設定します。